

貯 法 : 室温保存
有効期間 : 3年2ヵ月(バラ)
3年(分包)

乳酸菌整腸剤(ラクトミン製剤)
ラクトミン

承認番号	22100AMX01725000
販売開始	1918年2月

ビオフィエルミン®配合散

BIOFERMIN® POWDER

3. 組成・性状

3.1 組成

販売名	ビオフィエルミン配合散
有効成分	1g中 ラクトミン6mg、糖化菌4mg
添加剤	バレイショデンプン、乳糖水和物、 沈降炭酸カルシウム、白糖

3.2 製剤の性状

販売名	ビオフィエルミン配合散
性状・剤形	白色の粉末状の散剤
識別コード	BF11 (分包)

4. 効能・効果

腸内菌叢の異常による諸症状の改善

6. 用法・用量

通常成人1日3～9gを3回に分割経口投与する。なお、
年齢、症状により適宜増減する。

14. 適用上の注意

14.1 薬剤調製時の注意

アミノフィリン、イソニアジドとの配合により着色
することがあるので配合をさけることが望ましい。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

乳酸菌は腸内で増殖し、乳酸等を産生して腸内菌叢の
正常化をはかり、整腸作用をあらわす。

18.2 腐敗産物産生抑制作用

ラットにおいて、ラクトミン(*Streptococcus faecalis*)
の単独連続投与により、糞便中の腐敗産物量(イン
ドール量)は低下傾向にあった¹⁾。

18.3 ビフィズス菌増殖促進作用

18.3.1 ラットにおいて、ラクトミン(*Streptococcus faecalis*)
の投与(5～7日間)により、腸内有用菌であるビフィ
ズス菌が増加した²⁾。

18.3.2 健康乳幼児において、本剤投与(10日間)により、
腸内有用菌であるビフィズス菌は増加傾向にあった³⁾。

18.4 大腸菌増殖抑制作用

健康乳幼児及び下痢症患者において、本剤投与により、
腸内の腸球菌が増加し、大腸菌が減少した。とくに下
痢症患者においては、この傾向が著明であった。また、
糞便のpH値は健康乳幼児では軽度、下痢症患者では著明に低下した^{3), 4)}。

19. 有効成分に関する理化学的知見

19.1 ラクトミン

一般的名称: ラクトミン(Lactomin)

菌 種 : *Streptococcus faecalis*

性 状 : 白色～わずかに黄褐色の粉末で、におい
はないか、又はわずかに特異なにおいが
ある。

19.2 糖化菌

一般的名称: 糖化菌(Amylolytic Bacillus)

菌 種 : *Bacillus subtilis*

性 状 : 白色～わずかに灰褐色の粉末で、におい
はないか、又はわずかに特異なにおいが
ある。

20. 取扱い上の注意

本剤は生菌製剤であるので、開封後は湿気を避けて保
存すること。

22. 包装

120g [1g(分包)×120]

500g [バラ]

23. 主要文献

- 1) 吉原一郎 他: 第37回日本栄養・食糧学会総会講演要旨
集. 1983;187
- 2) 勝又俊太郎: 日本小児科学会雑誌. 1954;58(10):893-899
- 3) 勝又俊太郎: 日本小児科学会雑誌. 1954;58(10):899-902
- 4) 勝又俊太郎: 日本小児科学会雑誌. 1954;58(11):965-968

* 24. 文献請求先及び問い合わせ先

大正製薬株式会社 メディカルインフォメーションセンター
〒170-8633 東京都豊島区高田3-24-1
電話 0120-591-818

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

ビオフィエルミン製薬株式会社
神戸市西区井吹台東町七丁目3番4

26.2 販売

 大正製薬株式会社
東京都豊島区高田3-24-1